



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月11日

上場会社名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6090 URL http://humanmetabolome.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅野 隆二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 長谷川 哲也 TEL 03-3551-2180  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	273	△8.6	△143	—	△157	—	△158	—
28年3月期第2四半期	299	23.7	△115	—	△111	—	△110	—

（注）包括利益 29年3月期第2四半期 △153百万円（-％） 28年3月期第2四半期 △110百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△28.27	—
28年3月期第2四半期	△20.80	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,867	1,739	93.1
28年3月期	1,649	1,523	92.3

（参考）自己資本 29年3月期第2四半期 1,738百万円 28年3月期 1,523百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	810	3.8	△273	—	△276	—	△279	—	△52.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	5,780,900株	28年3月期	5,333,800株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	－株	28年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	5,611,201株	28年3月期2Q	5,328,490株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあつたての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、平成28年11月24日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後遅滞なく、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	10
生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧米等の先進国を中心に緩やかな回復傾向が続きましたが、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念などから先行き不透明な状況が続いています。国内においては、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復基調で推移していますが、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動が国内経済を下押しする懸念要因となっています。

当社が属するライフサイエンス業界においては、少子高齢化を背景として医療経済性の向上や健康寿命の延伸に寄与する医薬品・医療機器・健康関連商品等へのニーズが高まり、同分野の研究開発が活発に行われています。

このような状況の中、当社グループでは、メタボローム解析事業において、学会への出展やキャンペーンといった販促活動を中心に受注拡大に取り組むとともに、海外市場の深耕や新市場の開拓に注力してまいりました。バイオマーカー事業においては大うつ病性障害（以下、「うつ病」といいます。）検査キットの開発を推進しました。また、平成28年6月にエムスリー株式会社（以下、「エムスリー」といいます。）との間で資本及び業務提携契約を締結するとともに、同社、株式会社平田牧場、株式会社山形銀行並びに株式会社荘内銀行を割当先とする第三者割当増資を実施し、メタボローム解析事業の拡大やうつ病バイオマーカーの実用化・事業化を加速させる活動に取り組んでまいりました。

これらの結果、メタボローム解析事業の受注が好調に推移し売上高が伸長したものの、前連結会計年度末に廃止した人材派遣事業の売上高（前年同期は23,556千円）が剥落したこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は、273,670千円（前年同期比8.6%減）、営業損失は143,262千円（前年同期は115,938千円の営業損失）、経常損失は157,710千円（前年同期は111,775千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は158,623千円（前年同期は110,854千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの状況を示すと、次のとおりであります。

なお、「人材派遣事業」は前連結会計年度で廃止しており、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを従来の「メタボローム解析事業」、「バイオマーカー事業」及び「人材派遣事業」の3区分から、「メタボローム解析事業」及び「バイオマーカー事業」の2区分に変更しております。

#### ① メタボローム解析事業

当事業セグメントにおいては、前期に引き続き、積極的な販促活動を展開し大口案件獲得に取り組んだ他、機能性表示食品関連等の新市場開拓に注力しました。海外においては、米国において営業担当者を増員したこと等を背景に製薬・臨床分野からの受注が増加した他、韓国・シンガポールなどアジア圏からの受注獲得にも注力しました。この他、試料受領後の解析・分析作業等の生産性向上に取り組みました。この結果、売上高は273,190千円（前年同期比11.4%増）、セグメント利益は83,293千円（前年同期比95.3%増）となりました。

なお、当社グループのメタボローム解析事業は、季節的な要因として多くの顧客の年度末にあたる当社第4四半期連結会計期間に売上高、利益ともに大きくなる傾向にあります。

#### ② バイオマーカー事業

当事業セグメントにおいては、うつ病バイオマーカーの実用化・事業化に向け、当期中の研究用試薬（RUO）の上市を念頭にうつ病検査キットの開発を推進しました。この他、RUOの上市後の本格的な臨床開発に向けて協力医療機関の開拓等に取り組みました。また、資本業務提携先であるエムスリー及び同社グループの総合力を活用し、うつ病バイオマーカーの普及に向けたプロモーション活動等に取り組みました。この結果、売上高は480千円（前年同期比98.4%減）、セグメント損失は72,610千円（前年同期は14,002千円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,655,345千円となり、前連結会計年度末に比べ212,721千円増加しました。これは、有価証券が200,378千円減少したものの、現金及び預金が435,651千円増加したこと等によるものであります。

##### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は212,434千円となり、前連結会計年度末に比べ5,416千円増加しました。これは、工具、器具及び備品が42,027千円、有形固定資産の減価償却累計額が24,762千円増加し、リース資産が13,506千円減少したこと等によるものであります。

（流動負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は109,729千円となり、前連結会計年度末に比べ9,140千円増加しました。これは、1年内返済予定の長期借入金が8,520千円減少したことに加え、その他に含め表示している未払消費税等が減少、未払費用及び前受金が増加したこと等によるものであります。

（固定負債）

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は18,269千円となり、前連結会計年度末に比べ7,501千円減少しました。これは、リース債務が5,661千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,739,781千円となり、前連結会計年度末に比べ216,499千円増加しました。これは、第三者割当増資及び新株予約権の行使により資本金が183,937千円、資本剰余金が183,937千円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失158,623千円を計上したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ235,273千円増加し、1,487,795千円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの概況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは89,645千円の支出（前年同期は104,839千円の支出）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失157,710千円の計上、減価償却費26,030千円の計上、売上債権の減少31,496千円、前受金の増加20,089千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは26,252千円の支出（前年同期は114,349千円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出23,156千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは344,138千円の収入（前年同期は10,082千円の支出）となりました。これはリース債務の返済による支出10,892千円、長期借入金の返済による支出8,520千円、株式の発行による収入363,551千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、例年第4四半期連結会計期間に収益が偏る傾向にありますが、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、予想の範囲内で推移しております。また、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しにつきましても、現在のところ重要な変更事項はありません。そのため、通期の業績予想につきましては、平成28年5月11日公表のとおりといたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる損益及び財政状態に与える影響はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	952,143	1,387,795
売掛金	153,366	119,479
有価証券	300,378	100,000
商品	16,451	13,530
仕掛品	877	4,243
原材料及び貯蔵品	8,484	6,365
その他	10,921	23,930
流動資産合計	1,442,624	1,655,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,755	19,755
工具、器具及び備品	242,500	284,527
リース資産	121,567	108,061
減価償却累計額	△293,183	△317,946
有形固定資産合計	90,639	94,398
無形固定資産	3,210	5,337
投資その他の資産		
投資有価証券	101,933	101,496
その他	11,233	11,201
投資その他の資産	113,167	112,698
固定資産合計	207,018	212,434
資産合計	1,649,642	1,867,780
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	—	82
1年内返済予定の長期借入金	14,420	5,900
リース債務	10,693	5,461
未払法人税等	7,845	8,250
その他	67,631	90,035
流動負債合計	100,589	109,729
固定負債		
リース債務	5,661	—
繰延税金負債	5,779	4,570
資産除去債務	13,636	13,698
その他	693	—
固定負債合計	25,770	18,269
負債合計	126,360	127,998
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,253,941	1,437,879
資本剰余金	1,242,658	1,426,595
利益剰余金	△986,673	△1,145,296
株主資本合計	1,509,925	1,719,178
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	13,355	18,878
その他の包括利益累計額合計	13,355	18,878
新株予約権	—	1,724
純資産合計	1,523,281	1,739,781
負債純資産合計	1,649,642	1,867,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	299,468	273,670
売上原価	103,406	82,919
売上総利益	196,062	190,750
販売費及び一般管理費	312,001	334,013
営業損失(△)	△115,938	△143,262
営業外収益		
受取利息及び配当金	504	463
補助金収入	4,647	318
その他	178	28
営業外収益合計	5,330	810
営業外費用		
支払利息	636	276
為替差損	425	10,657
株式交付費	60	4,324
その他	45	—
営業外費用合計	1,167	15,258
経常損失(△)	△111,775	△157,710
税金等調整前四半期純損失(△)	△111,775	△157,710
法人税、住民税及び事業税	1,438	2,121
法人税等調整額	△2,359	△1,208
法人税等合計	△921	912
四半期純損失(△)	△110,854	△158,623
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△110,854	△158,623

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△110,854	△158,623
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	440	5,522
その他の包括利益合計	440	5,522
四半期包括利益	△110,414	△153,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△110,414	△153,100
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失（△）	△111,775	△157,710
減価償却費	29,556	26,030
受取利息及び受取配当金	△504	△463
支払利息	636	276
為替差損益（△は益）	61	820
株式交付費	60	4,324
補助金収入	△4,647	△318
売上債権の増減額（△は増加）	△21,064	31,496
たな卸資産の増減額（△は増加）	△6,476	1,673
仕入債務の増減額（△は減少）	△6,496	82
前払費用の増減額（△は増加）	△9,121	△10,072
前受金の増減額（△は減少）	10,985	20,089
未払費用の増減額（△は減少）	7,423	13,654
未払消費税等の増減額（△は減少）	△5,806	△18,638
その他	10,874	△454
小計	△106,295	△89,209
利息及び配当金の受取額	502	916
利息の支払額	△625	△262
補助金の受取額	2,002	1,000
補助金の返還額	△7	△24
法人税等の支払額	△416	△2,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	△104,839	△89,645
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11,246	△23,156
無形固定資産の取得による支出	△687	△3,395
投資有価証券の取得による支出	△102,370	—
その他	△45	298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114,349	△26,252
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△8,520	△8,520
株式の発行による収入	8,144	363,551
リース債務の返済による支出	△9,706	△10,892
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,082	344,138
現金及び現金同等物に係る換算差額	413	7,032
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△228,858	235,273
現金及び現金同等物の期首残高	1,463,188	1,252,522
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,234,330	1,487,795

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成28年6月10日付で、エムスリー株式会社、株式会社平田牧場、株式会社山形銀行及び株式会社荘内銀行から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ178,235千円増加しております。また、新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ5,702千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,437,879千円、資本準備金が1,426,595千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			
	メタボローム 解析事業	バイオマーカー 事業	人材派遣事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	245,292	30,620	23,556	299,468
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	245,292	30,620	23,556	299,468
セグメント利益又は損失（△）	42,651	△14,002	905	29,553

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	29,553
全社費用（注）	△145,492
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△115,938

（注）セグメント利益の全社費用△145,492千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		
	メタボローム 解析事業	バイオマーカー 事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	273,190	480	273,670
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—
計	273,190	480	273,670
セグメント利益又は損失（△）	83,293	△72,610	10,683

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	10,683
全社費用（注）	△153,946
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△143,262

（注）セグメント利益の全社費用△153,946千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

経営資源の集中を目的として前連結会計年度末日（平成28年3月31日）をもって「人材派遣事業」を廃止したことに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを従来の「メタボローム解析事業」、「バイオマーカー事業」及び「人材派遣事業」の3区分から、「メタボローム解析事業」及び「バイオマーカー事業」の2区分に変更しております。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更が当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	
	生産高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	1,107	17.3
合計	1,107	17.3

- (注) 1. 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。  
 2. 上記の金額は、メタボローム解析事業のうち、試薬キットに係る部分を記載しております。  
 3. その他メタボローム解析事業、バイオマーカー事業については、業務の性質上生産として把握することが困難であるため記載しておりません。

② 仕入実績

仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	
	仕入高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	3,164	27.7
合計	3,164	27.7

- (注) 1. 金額は、仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。  
 2. 上記の金額は、メタボローム解析事業のうち、限外ろ過フィルターに係る部分を記載しております。  
 3. その他メタボローム解析事業、バイオマーカー事業については、業務の性質上仕入として把握することが困難であるため記載しておりません。

③ 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	423,428	131.2	250,520	141.8
バイオマーカー事業	480	1.6	—	—
合計	423,908	120.0	250,520	141.8

- (注) 金額は、販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

④ 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	
	販売高 (千円)	前年同期比 (%)
メタボローム解析事業	273,190	111.4
バイオマーカー事業	480	1.6
合計	273,670	91.4

- (注) 1. 金額は、販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。  
 2. 人材派遣事業については、前連結会計年度末日（平成28年3月31日）をもって廃止いたしました。